

事務事業評価シート(総括表)

事務事業	05	エイズ対策の充実				
章	1	健康でおもいやりのあるまち				
大項目	01	心と体の健康づくり				
施策	01	生涯を通じた心と体の健康づくり				
<b>事業内容</b>						
目的	エイズ及び性感染症の感染及びまん延防止、並びに社会的偏見を解消します。					
対象・手段	対象：青少年・外国人・同性愛者など 手段：検査受診時等での相談及び指導の充実、教育現場との連携、国・都・関係機関等との連携により、エイズ（性感染症）対策の基盤整備、効果的な事業実施を図ります。					
<b>成果（事業が意図する成果）</b>						
<p>患者・感染者の早期発見、早期治療及び療養支援を行うことにより、エイズ及び性感染症への感染予防、まん延防止、さらには公衆衛生の向上が図られます。</p> <p>また、相談と正しい知識の普及啓発により、患者・感染者が偏見や差別を受けずに、より良い治療及び生活を続ける社会的環境が整います。</p>						
<b>事業成果指標</b>						
指標名	定義	目標水準				
はたちのつどい参加者アンケートにおけるエイズ・性感染症に関する正しい知識を持つ人の割合（正解率）	一般区民への正しい知識の普及向上を目指すことは、感染予防及びまん延を防止することとなる。 【正解率＝延べ正解数／参加者×設問数】	（平成19年度）に （90%）の水準達成				
H I V抗体検査受診者数	H I V抗体検査受診者数	（平成19年度）に （900人）の水準達成				
		（ ）年度に （ ）の水準達成				
<b>成果の達成状況</b>						
	単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
事業成果指標	目標値 1	%	90.00	90.00	90.00	指標 1 の実績 ・19年度 1,762 ÷ (244 × 8) = 90.27
	実績 1	%	85.79	85.09	92.57	
	= /	%	95.32	94.54	102.86	
	目標値 2	人	900.00	900.00	900.00	
	実績 2	人	732.00	808.00	844.00	
	= /	%	81.33	89.78	93.78	
	目標値 3		0.00	0.00	0.00	
	実績 3		0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	
<b>事業の実施内容</b>						
平成18年度	検査体制 26回（うち男性同性愛者対象2回） H I V検査844件・クラミジア822件等 相談業務（カッコ内は外国人） 来所相談1688名（190名） 電話相談348名（133名） 性感染症講習会（約33名） 成人式イベント（217名） 外国語版啓発用パンフレット、カード（3言語4種類） H I V検査啓発カードの作成（4500枚）					
平成19年度	検査体制 27回（うち男性同性愛者対象2回、夜間1回） H I V検査865件・クラミジア850件 相談業務（カッコ内は外国人） 来所相談1717名（193名） 電話相談344名（119名） 性感染症講習会（13名） 成人式イベント（244名） H I V検査啓発用カードの作成（5000枚） 男性同性愛者対象検査用ポスター、チラシの作成（ポスター1000枚 チラシ6000枚）					

部名称		健康部		課名称		保健予防課	
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	7,310	8,160	8,410	8,272	
	人件費	千円	5,837	5,837	5,796	5,782	
	事務費	千円	196	220	236	188	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	13,343	14,217	14,442	14,242	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	13,343	14,217	14,442	14,242	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	9,200	9,979	10,293	9,885	
	特定財源		4,143	4,238	4,149	4,357	
	一般財源投入率 /	%	68.95	70.19	71.27	69.41	
職員	常勤職員	人	0.70	0.70	0.70	0.70	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	
<b>事業に関する検討課題</b>							
<p>H I V感染者は増加の一途をたどっており、早期発見・早期治療に結びつく抗体検査の充実及び啓発について、国や都などとの広域的な連携を強化していく必要があります。特に近年の報告で感染報告数が増加している同性愛者に対する啓発が重要です。</p> <p>また、若年層に性感染症のり患が増えていることから、青少年への正しい知識の普及啓発について、教育関係機関等と連携を強めていく必要があります。</p>							
評価基準に基づく評価と理由	達成度	2	H I V抗体検査及び性感染症検査の実施数増加により、疾病の早期発見はもとより、検査及び結果説明時に行なう相談の充実により受診者への正しい知識が浸透しています。				
	実施の成果	3	医師による結果説明や保健師によるカウンセリング等、検査・結果時の来所相談、また保健所・保健センターでの電話相談による性感染症の理解度は高く、外国人への相談体制充実を含め、予防及び治療に向けた環境が整い、大きな成果をあげています。				
	効率性	3	検査の案内等をエイズ関係団体のホームページに掲載してもらうなど、費用をかけず効率的に周知しています。また、男性同性愛者対象検査についても同様に関係団体の協力を得て同性愛者がより手取りやすいようなチラシを作成・配布しました。				
	行政の関与	3	検査受診者のプライバシー保護、知識情報の提供、感染予防、偏見・差別の無い社会づくり、感染者への適正な対応等行政としての関与は妥当です。また、感染者数が増加しているため行政として予防啓発をおこなうことは必要です。				
	妥当性	3	受検者数年間900人（後期基本計画の指標）という目標設定は、エイズの早期発見・早期治療の必要性を踏まえたもので適切です。				
	施策寄与度	3	過去3年間に、H I V抗体検査時の相談・実施方法の内容充実及び受診者の増加、外国人に対する相談体制の充実をしてきました。H I V抗体検査による患者の早期発見、早期治療により、区民の健康づくりの進展及び公衆衛生の向上に寄与しています。				
総合評価	平成19年度の評価をBとした理由は、エイズ対策を計画どおり実施し、予定した成果をあげているためです。その内容は、試行的に夜間検査を1回実施し検査機会の拡大を図ったことや、青少年の性感染症対策として、区内専門学校へのポスター等の配付や、保健師による出前講座を行なったことです。						B 過年度評価
	過去3年間の実績ではBと評価します。具体的には、H I V抗体検査時の相談・実施方法の内容の充実及び受診者の増加、外国人に対する相談体制の充実など、国、都、関係団体等と連携して実施し、成果をあげています。						
改革方針	H I V感染者・エイズ患者は増加傾向が続いており、エイズ対策は今後も充実していく必要があります。そのためこの事業は、第一次実行計画「29エイズ対策の推進」に引き続いて取り組んでいきます。検査・相談啓発カードについて関係機関と連携して対象別（同性愛者向け・青少年一般向け）に作成し、配布する予定です。						4 拡大
	なお、平成19年度に試行的に実施した夜間検査は、平成20年度は2回実施することとし、検査機会の一層の充実を図ります。						